

「課題名：入退院支援における薬剤師介入による医療安全確保および薬物治療の質向上に関する研究」について

○ 研究の意義・目的

入院前に薬剤師が使用薬剤を確認し、中止・継続薬の確認および指導を行うことは安全な手術・検査の実施や、良質な薬物治療の実施に寄与すると考えられています。本研究では、入退院時の薬剤師の介入内容を調査し、効果的な介入方法を確立することを目的としています。

○ 研究対象者

2020年4月から2023年3月31日までの期間中に、広島大学病院に入院した全患者さんを対象にします。

○ 研究方法

本研究は、匿名化した後の診療録（カルテ）情報を利用して行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、身長、体重、アレルギー・副作用歴、血液検査値(血算、腎機能、肝機能、電解質、CRP、ALB)、入院目的、投薬歴、入院中の治療経過、薬剤師記録です。
(個人が特定出来る情報は転記しません)

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰

○ 研究期間 委員会承認後～ 2025年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰 (研究責任者)

薬剤師 真志田 絵美子 (担当者)